地域医療連携だより

8号
平成25年12月15日発行
発行／小林市立病院　地域医療連携室

～室長　あいさつ～

当院が新病院に移転し、早や４年が経過しました。平成２１年度に ４７９名であった救急車の受け入れ数が、平成２４年度は７４６名と前年比約１．５倍に増加し、職員一同西諸医療圏における中核病院としての役割を自覚し、日々診療にあたっております。

また医師会の各先生方には、ご多忙の中夜間の時間外診療にもご協力いただいたことが、地域住民の方々の安心と、当院医師の負担減につながり大変感謝しております。

今年４月からは、救急専門医の川井田望先生が赴任し、同先生を中心にこれまで以上に救急医療に力を注ぐ体制が整いつつあります。

内科医師の撤退により、内科入院の受け入れができない状態が続いておりますが、病院敷地内にヘリポートが設置され、宮崎大学医学部救命救急センター、宮崎市郡医師会病院等の圏外医療機関のご協力もいただきながら、救急科、外科を中心に、専門外疾患にも可能な限り対応しております。

医師不足や看護師不足の問題は、解消のめどが中々立たない状況ですが、看護学校の新設など光明も差してきました。新しい診療体制が構築されるまでの間は、現存のマンパワーで何とか乗り切っていきたいと考えております。

今後も、皆様のご指導ご協力の程よろしくお願いいたします。

地域医療連携室長　島名　昭彦

地域医療連携室よりお知らせ

日頃より、患者さんをご紹介いただき、誠にありがとうございます。当室では、地域の先生方からのご要望等に少しでもお応えできるよう取り組みながら、スムーズな医療連携を心掛けて参りますので、お気づきの点等がございましたら、地域医療連携室までお気軽にお申し付けください。

◆下記の診療科は、完全予約制になりますので、紹介の際は当室にご連絡ください。

心臓血管外科	第２金曜日
高血圧・ペースメーカー外来	原則第１金曜日・第３金曜日（平成26年1月より） 但し、1月は1月17日・31日になります。

◆救急患者の受け入れについては、できる限り対応させていただきますので、お電話をお願いします。

連 絡 先　　小林市立病院　地域医療連携室　　TEL　0984-23-8225（直通）
FAX　0984-23-8226

各部署紹介

今回は、

臨 床 工 学 室 です。

当院の臨床工学室は、平成２１年１０月に新設され、今年度より３名のスタッフで運営しております。現在の主な業務として、各種血液浄化業務、高気圧酸素治療業務、人工呼吸器関連業務、手術室・内視鏡室業務、ME機器の管理および教育など、医療機器を中心とした業務に幅広く携わり、24時間体制で従事しております。

血液浄化業務では、慢性維持血液透析装置１５台（HCUを含む）を有し、県内でも有数の高い水質を確保し、透析液管理施設基準２を取得しております。現在、重度の合併症を伴う患者をはじめ、紹介患者および帰省透析患者など、約２０名の患者さんが治療を受けられておりますが、災害救急時には、最大３０名/日の受け入れができるように常備しております。

透析室　15台

また、持続的血液濾過透析、血漿交換、腹水濃縮濾過静注法、血液吸着療法などの特殊な血液浄化療法も積極的に施行しております。

高気圧酸素療法は、主に末梢循環障害や腸閉塞、重症感染症等の救急的患者に対し施行しており、術前術後の治療として良好な成績が得られています。呼吸器関連業務では、導入から離脱まで、患者さんの状態に合わせた呼吸器管理ができるように周辺機器を整え、週1回のRSTラウンドを実施しております 。

ME機器管理業務では、医療機器安全管理基準１を取得しており、輸液ポンプなどの特定高度管機器は、すべて中央管理を行い各部署への貸出し体制をとっており、始業前終業後の点検と定期的な保守点検計画を策定し、関連情報の提供と教育を実施しております。しかし、院内の医療機器は年々増加傾向にあり、既存のＭＥ室も手狭になっていますので、機器の購入から廃棄までの計画を検討しなければならないと思っております。今年度増員されたことをきっかけに、新たに内視鏡業務と手術室業務に介入しております。高度かつ侵襲性の高い特殊な医療機器に、迅速に対応できるように努めていきたいと思っております。

個人用高気圧酸素　1台

今後は、救急医療及び循環器業務にも介入し、更なる飛躍を遂げたいと考えています。その他、例年大学生の臨床実習を受け入れと、毎月、西諸医療圏の臨床工学技士の勉強会を実施しており、質の高い医療の支援と医療機器の安全管理に力を入れ、西諸医療圏のＭＥセンターとして貢献できればと考えております。

過去２年間の症例報告

　先月１１月に行いました症例検討会が、回を重ねて１３回目となりました。他医療機関等からも演題を発表していただき、充実した会になっております。
　１０回目には、宮崎大学医学部附属病院の救命救急センターの金丸先生が特別講演をされ、多数の参加をいただきました。１２回目には、えびの市立病院長の河内先生に座長をお願いし、会を盛り上げていただきました。
　次回は、来年の２月２４日を予定しておりますので、多数の参加をお待ちしております。
　参考までに、過去２年間の演題を下記にまとめさせていただきました。

第6回症例検討会

日時/参加人数　平成23年6月27日　18時30分～　80名

演題（発表者）
『新規採用看護師教育を振り返って』（久土　和子）
『手術室災害訓練』（池田　梨沙）
『小林市立病院における緩和ケアチームの立ち上げと現況報告①』（永友　由里子）
『び慢性軸索損傷による遷延性意識障害患者に対する直接訓練』池田病院（橋口　智英）
『心臓ＣＴについて』（齋藤　貢）
『当院における脳塞栓症の治療』池田病院（池田　徳郎）
『劇症型髄膜炎菌性敗血症によるWaterhouse-Friedrichsen症候群の1例』（松田　俊太郎）
『パラコート中毒の一症例』（大迫　洋一）
『繰り返す化膿性脊椎炎の一症例』（香川　陽一）

第7回症例検討会

日時/参加人数　平成23年9月27日　18時30分～　68名

演題（発表者）
『ウロストミー造設後の皮膚トラブル』（鶴野　敬子）
『小林市立病院呼吸ケアサポート（ＲＳＴ）活動報告』（谷山　礼明）
『看護必要度の取り組み』（池ノ上　功一）
『褥創ケアについて』園田病院（前中　美保）
『術前心機能評価における検査室の取り組み』（川﨑　さゆり）
『当院における急性腹症に対する超音波検査』（大堂　雅晴）

第8回症例検討会

日時/参加人数　平成24年2月28日　18時30分～　85名

演題（発表者）
『外来化学療法　治療日記一年後の評価』（橋爪　由美）
『高気圧酸素療法が奏功した両側大転子部ガス壊疽の一例』（村田　淳一）
『当院において検出された三日熱マラリアの1症例』（神谷　英輝）
『頸動脈エコー検査時に偶然発見した甲状腺乳頭癌の1症例』池井病院（奥野　ひとみ）
『駆け込み救急による小児の心肺蘇生成功症例』中央消防署（中嶋　和義）

『化学療法により比較的長期予後が得られている胃癌腹膜転移の一例』
（島名　昭彦）
『経皮的腎生検が診断に有用であった転移性腎腫瘍の一例』　（大迫　洋一）

第9回症例検討会

日時/参加人数　平成24年6月25日　18時30分～　87名
演題（発表者）　『看護師が行うＰＴＰ包装シート薬剤管理の取り組み』　（若松　恵子）
『小林市立病院呼吸ケアサポートチーム（RST）の活動報告（2）』
（北原　加奈）

『前立腺ＭＲＩ検査における拡張強調画像の臨床応用について』
（原田　教信）
『疥癬対策・院内感染を含む２症例』　園田病院　（宮田　美津子）
『治療に難儀した脳膿瘍の一例』　園田病院　（加地　泰広）
『当院でのがん化学療法の現状』　（徳田　浩喜）

第10回症例検討会（特別講演）

日時/参加人数　平成24年10月18日　18時30分～　104名
演題（発表者）　『ドクターヘリ要請事案』　中央消防署　（中村　和雄）
『当院の救急搬送の現況』　（島名　昭彦）
特別講演　『宮崎ドクターヘリの運用で見えてきたもの』
宮崎大学医学部附属病院　救急救命センター　副センター長　金丸　勝弘　先生

第11回症例検討会

日時/参加人数　平成25年2月25日　18時30分～　67名
演題（発表者）　『電撃症の患者の看護を経験して』　（松元　香）
『がんターミナル患者の褥瘡について除圧に焦点をあてた１症例』
（栗原　律子）
『消化管穿孔症例に対する長時間PMX−DHPの検討』　（福元　広行）
『入院困難・拒否の患者に対して訪問看護師として今出来る事や今後の関わりについて』
訪問看護ひかり　（中島　まゆみ）
『当院における肺癌化学療法の現況』　（島名　昭彦）
『当院での術後回復力強化プログラムへの取り組みについて』
（杉田　智）
『当院における鼠径部ヘルニア嵌頓症例の検討』　（堀　英昭）

第12回症例検討会

日時/参加人数　　平成25年6月24日　18時30分～　　　　98名

演題（発表者）　『造血幹細胞移植後血液型が変化した１症例』

池井病院　（山下　景子）

『大腸癌術前後食の取り組み』　（本坊　真弓）

『体腔穿刺検査における異形細胞２例について』　（末山　博敏）

『Gamma - nail術後クリニカルパス運用前後の入院期間の変化について』

（川原　秀樹）

『外科・急性期病棟看護師の人工呼吸器ケアに対する現状報告』

（谷山　礼明）

『Core Stability Training』　えびの市立病院　（村上　俊一）

『当院の大腸癌治療の現状』　（島名　昭彦）

『入院困難・拒否の患者に対して訪問看護師として今出来る事や今後の関わりについて』

訪問看護ひかり　（中島　まゆみ）

『当院における肺癌化学療法の現況』　（島名　昭彦）

『当院での術後回復力強化プログラムへの取り組みについて』　（杉田　智）

『当院における鼠径部ヘルニア嵌頓症例の検討』　（堀　英昭）

第13回症例検討会

日時/参加人数　　平成25年11月22日　18時30分～　　　　81名

演題（発表者）　『DMAT研修を受講して』　（竹之下　直人）

『敷地内ヘリポート開設後におけるドクターヘリ利用報告　（温水　めぐみ）

『ベッドサイドイラストボード設置による情報共有の効果について』

（岡原　久美子）

『一症例から退院支援の在り方を振り返る』　（田中　靖子）

『告知され化学療法を断念した患者との関わり』　（長谷川　ゆかり）

『当院における前立腺全摘除術後の鼠径ヘルニア予防の取り組み』

（黒島　和樹）

○次回開催日○
日時/時間：平成２６年２月２４日（月）１８時３０分～
場　　　所：小林市立病院　２階大会議室

「院内コンサート」を開催しました！！

当院では年に１度、院内コンサートを開催し、入院中の患者さんを中心に、患者さんや患者さんのご家族に楽しいひとときをお過ごしいただいています。

１２月１４日（土）１階ロビーにて行いました。

今回のコンサートの出演者は、フラダンス、日本舞踊、バイオリン病院スタッフによるハンドベルの演奏でした。